

交通安全体験車 おかやまふれ愛号

リニューアル

ドライバー対策から 歩行者対策へ！



企画・製作 マイクロメイト岡山株式会社

平成 22 年 9 月 30 日

岡山県警察本部様 交通安全体験車「おかやまふれ愛号」をリニューアル

2010.9.30



子供からお年寄りまで道路を利用する全ての方の交通事故防止のために導入された交通安全体験車「おかやまふれ愛号」も、平成16年に導入していただいてから6年が経過し、車両はそのまま、内部に搭載している各機器をリニューアルをしていただきました。

道路横断中に自動車にはねられる高齢者の事故が後を絶ちませんが、そんな道路横断中の事故防止のため、歩行者が道路横断を体験できる歩行環境シミュレータや、夜間の視認性が体験できる装置などを新たに搭載しました。

新規搭載①

歩行環境シミュレータ「わたりジョーズ君II」

(四輪車運転シミュレータを変更)



車の行き交う複雑な道路環境を最新のCG技術で再現し、現実に近いリアルな横断体験をすることができます。

3面のスクリーンを使用しているため、左右双方向から車両が出現し、しっかりと左右の安全確認ができていないかどうかチェックできます。

また、昼間だけでなく、薄暮・夜間での体験もでき、体験後には結果票もプリントアウトされます。



新規搭載②

夜間の視認性体験装置

(新規追加)



夜間には何色が見えやすく、何色が見えにくいのかを実際に自分の目で見て確かめることができます。

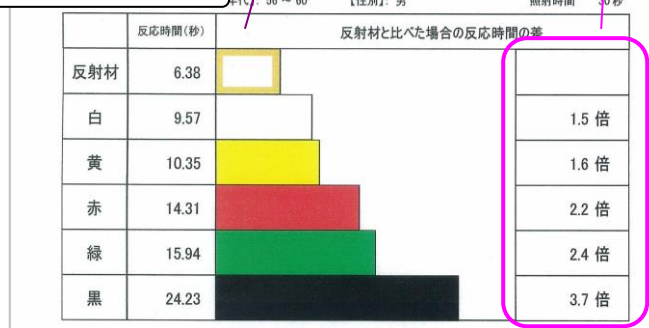
体験後には結果票もプリントアウトされ、暗い色は発見するのに時間がかかり、明るい色は早く発見できる、また反射材は明るい色よりも更に見えやすいということが理解できます。

発見できた時間はグラフで表示されます

反射材に比べ、発見するのに何倍時間がかかったかを表示します



結果票サンプル



新規搭載③

視野診断計

(簡易型視野計<両眼検査のみ>から新型へ移行)

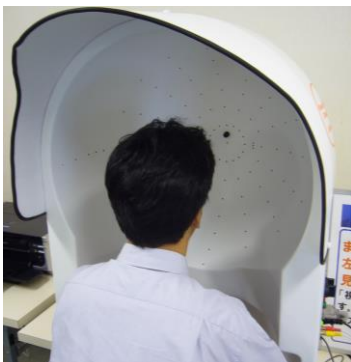
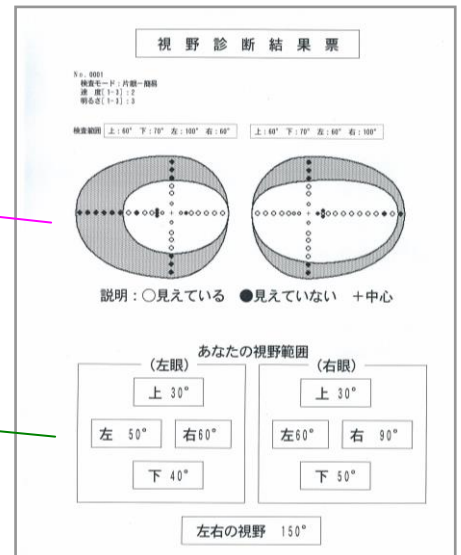


交通場面において、情報の約80%は目から入ってくるといわれますが、いくら視力が良くても見える範囲(視野)が狭ければ、情報を見落とす危険性があります。

両眼でスピーディーに検査できるモード
片眼ずつ正確に検査できるモードなど
数パターンの検査モードがあり、検査終了後は分かりやすい結果票がプリントアウトされます。

見えていない範囲は黒く塗りつぶされて表示されます

左右上下 何度まで見えているか表示されます





光ったランプを押さえるだけの簡単な検査で、交通場面で必要な「認知・判断・動作」のチェックができます。

検査後は総合的に分析された5段階評価の結果票がプリントアウトされ、自分の弱点をよく理解できます。

小さな子供にも対応できるような簡単な検査から、プロドライバー向けの複雑な検査まで、10通りの個別検査もあり、幅広く対応できます。

イベントでは長蛇の列ができるほどの人気ぶりです。

